

グローバル通信

長崎県立口加高校高等学校グローバルコース 第1号 令和3年5月21日

5月18日(火)の午後からグローバルコース1年生が探究型学習の一環としてフィールドワークを行いました。島原半島ジオパーク協議会の大野希一先生のご指導のもと、新しい視点で物事を見ることの楽しさを学びました。

【口之津港フェリーターミナル】

大野先生からの「観光客の立場になって、何が素晴らしいか、何が物足りないか考えてみよう」という問いを考え、30分ほどそれぞれで探索を行いました。



【早瀬漁港】

島原半島誕生の地



大野先生の「地層の様子を知れば、島原半島ができた当時の様子をはっきりわかる」という言葉に、地質学の奥の深さを感じました。



「この石垣の石が薄いのはなぜ？」
その理由について考えました。



あこの植生の仕方と昔の人々の暮らしとのつながりについて知りました。



【棚畑展望台】



早瀬漁港との違いとその理由について知りました。
この土地を開拓してきた人たちが“小豆島”から来た人とは... 知らないことの連続でした。

【学校に戻る途中に】

「非難するためにはどんな道を通る？」

「危険だと思うところは？」

いつも通っている道の見方も変わりました。

生徒の感想

今回のフィールドワークは、知識が身についただけでなく、自分の成長にもつながったと思う。今まで経験したことがないことや知らなかったことを知ることによって、物事に対する視野が広がった。普段なにも考えずに使っている場所について改めて考えることができた。ここで学んだ自分で考える力を大切にして視野をもっと広げていきたい。

今回のフィールドワークでは自分が知らなかった島原半島の知識を得ることができた。特に早瀬漁港での学習が楽しく、地層のつくりや、石の置き方、畑の土の色など、「なぜ？なぜ？」という疑問が自分の中に出てきたので、それを考えたりするのがとても楽しかった。もう少し、自分でその疑問について調べてみたい。

「考えたことがなかった！」
「今まで気づけなかった！」など、
視点を変えると様々な発見があることに気づき、
もっと知りたい！という気持ちが高まったようです

5月25日（火）は、今回のフィールドワークを通しての気づきを共有します。

また、6月からは実際に探究活動に入っていきます！

もっと多くの「なぜ？」を見つけ、

問題解決に向け奔走できるテーマをそれぞれ見つけていきましょう。